

## V205a SuMIRe-PFS[36]: PFS の共同利用観測に向けた科学運用の検討および開発状況について

小野寺仁人, 田中賢幸, 石垣美歩, Wanqiu He, 表泰秀, 高木悠平, Eric Jeschke, 越田進太郎, 新井彰, 森谷友由希 (国立天文台), 田村直之, 矢部清人 (東京大学), 他 PFS obsproc working group

すばる望遠鏡に搭載される Prime Focus Spectrograph (PFS) は約 2400 本のファイバーを持つ広視野多天体分光器である。PFS の高いサーベイ能力を活かすため、各露出で複数のプログラムから提供されるターゲット天体が混在する視野を考慮してファイバーを割り当てる ‘fiber sharing’ を、キュー観測を基本としておこなう予定である。これは現在のすばる望遠鏡の観測モードにはない新しい枠組みであるため、実現に向けて新規に科学運用の枠組みを策定し、関連するデータベースやソフトウェアの開発をおこなう必要がある。これまでに我々はコミュニティとの議論を含めた検討を重ね、装置コミッショニングを通して各種開発をおこなってきている。本講演では、科学運用ポリシーの検討状況について報告し、観測スケジューリングやファイバー配置の最適化プログラム、各種データベース、観測実行コマンドといった運用を実現するためのソフトウェア等の開発状況について報告する。